

「似顔絵・アニメ・ポスター作り。作品を通じて伝えたいのは『気持ち』。」

和歌山県 かつらぎ町立大谷小学校 山田真稔

□ プロジェクト参加やいろいろなデジタル表現の実践の中で

➤ 似顔絵を描いてみようなど、デジタル表現の実践

(似顔絵の例)…液晶ペンタブレットの活躍



- 自分の顔を見つめ、よく観察→自分の特徴や今まで気づけなかったことの発見。
- できあがった作品をもとにして新しい表現(キャラクター化、コメントをつけるなど)
- DPP(デジタル・ポートフォリオ・プロジェクト)やユネスコ・世界寺子屋運動(ポスターを作成しそれを使って活動)などのプロジェクト
- DPPの例(4コマアニメーション…webで交流)



- ユネスコ・世界寺子屋運動の例



いろいろな人とのやりとり
作品制作を通じて・できた作品を通じて

- 教室で・学校内で(他のクラス・学年)・他校と・一般の方々と
- 気持ちをやりとりする。
デジタルの良さも生かして
作品をよりよくできる。
友達と相談しながら。
- 図画工作(作品鑑賞の力)

□ 目的は…作品作り?技術の習得?…いや、作品制作やできた作品を通じて伝え合うこと

作品を作ることや、スキルの習得以上に大切にしたいのは、その作品で何を伝えたいのか、みんなにわかってほしいことは何かを意識し、できた作品を交流し合ったりすること。

作品を実際に使って、いろいろな人たちとコミュニケーションすること。

卒業制作の画像です。拡大印刷してパネルにしました。ところで、この作品で子どもたちが伝えたかったのはどんなことだと思われますか？例のように書き込んで、増やしてみてください。



ランチルーム。
全校で一緒に給食。
自校式でとってもお
しく、できたて。

全校児童。
明るいはつらつとし
たところや元気な様
子を見てほしい